

令和2年3月2日

## 令和元年度災害廃棄物処理セミナー(近畿ブロック)

### 講演①「近年の災害における廃棄物対策(台風19号に伴う福島県の災害廃棄物対応を交えて)」 「福島県伊達市における支援の概要」

京都府府民環境部循環型社会推進課 循環・リサイクル担当 技師 増田 清孝 氏

- 令和元年台風第19号において被害が発生した福島県伊達市への、京都府が行った支援の概要について説明

#### 1. 被害の概要

- 福島県伊達市では、建物被害合計2,025棟の被害が発生。
- 発災直後から片付けごみが発生し、市は仮置場を設置し対応を行ったが、多くの仮置場では災害廃棄物が混合廃棄物化。
- 片付けごみが多く発生し、発災後1か月後においても仮置場への排出が継続。

伊達市の被害状況

種別	被害棟数
全壊	159 棟
半壊	405 棟
一部損壊	292 棟
床上浸水	587 棟
床下浸水	582 棟
合計	2,025 棟

※令和元年11月末時点

災害廃棄物発生推計量

種別	災害廃棄物発生量
解体廃棄物	約109千t
片付けごみ	約8千t
合計	約117千t

※実行計画策定時点

#### 2. 福島県伊達市の災害マネジメント業務支援のため、人的支援を実施

- 京都府では、約1か月にわたって延べ57名の職員の派遣を実施。
- 職員の派遣にあたっては、中堅職員、若手職員の2名一組での派遣を実施。
- 支援内容としては、「災害廃棄物の仮置場のマネジメント」、「廃棄物処分処理行動計画の策定」、「公費解体補助金申請業務の指導等」を主に実施。